

新ケミカル商事の“いま”を伝える機関誌

Chemica

19

I'm just 19. I've a great dream.



I'm just 19.

I'm just 19.
 命を授かった理由はわからない。
 でも、懸命に生きた。
 生きるために 生き延びるために。
 時代が後押ししてくれたわけでもない。
 でも、懸命に生きた。
 生きるために 生き残るために。
 10才になったころ、自分の姿が少し見えて来た。
 一人で生きて来たわけではないことに。
 15才になったときに、
 はっきりと自分の姿が見えて来た。
 今があるのは、万物のたまものであることを。

世に問われている。
 わたしは来年20才、もう大人だろう。
 一体どんなヒトになるのかと。
 わたしは気づいている。
 まだ何者にもなっていないことを。
 I'm just 19.
 それでも、心の声を聞く。
 "I've a Great Dream!" と。

売上高(億)
246
 経常利益(億)
3.5

売上高(億)
546
(500億突破)
 経常利益(億)
8

売上高(億)
902
(過去最高)
 経常利益(億)
12

売上高(億)
1000
(計画)
 経常利益(億)
14



2004 **2008** **2010** **2012** **2013** **2014** **2016** **2018** **2021** **2022** **2023** **2024**

新ケミカル商事
 株式会社
 設立

CSRを宣言

新化実(上海)
 貿易有限公司を
 出資設立

日商岩井セメントの
 商権譲渡を受け、
 建材事業を拡大

新凱美塑料
 香港有限公司を
 出資設立

中期計画「NCT-26」をスタート
 株式会社灰孝本店をグループ化

NCT
 フロンティアを
 グループ化し、
 樹脂事業を
 拡大

北九州本社
 設立

新中期ビジョン
 「VISION-i」をスタート
 全社でSDGsを推進

19歳

20歳

I've a Great Dream.

I have a Great Dream that one day,
 people say

NCT is No.1 働きやすい会社.

I have a Great Dream that one day,
 people say

NCT is No.1 働きがいのある会社.

I'm just 138.

グループ会社紹介シリーズ

灰孝本店

NCT グループは、地域社会の一員として、地域に密着したビジネスを展開すると共に、全国各地で快適な環境創造に力を注いでいます。この「グループ会社 紹介シリーズ」ではそんなNCT グループ企業を紹介していきます。第一弾は100年企業である「株式会社 灰孝本店」です。



株式会社 灰孝本店

京都市下京区西木屋町通り
正面下る八王子町103番地
創業 明治18年



代表取締役社長 山内一正

株式会社灰孝本店は、生コンクリート、セメントをはじめとする建設資材の販売、またALC、押出成形板をはじめ建築から土木に至るまで多種多様な工事施工を受け持ち「品質第一」をモットーに取り組んでおります。これからも「ものづくり」を通して社会に貢献し、より信頼を得られるよう邁進してまいります。

私ども株式会社灰孝本店は、明治18年(1885年)に建築建材の間屋として創業時以来138年、その時代、その時代の変化の中で「ものづくり」を通して歩んでまいりました。生コンクリート、セメントをはじめとする建設資材の販売やALC、押出成形板など、建築から土木工事に至るまで多種多様な施工を受け持ち「品質第一」をモットーに取り組んでいます。数多くの得意先とお取引いただき、数多くのお客様と長年おつきあいを頂いておりますことは会社の大切な財産です。

近江商人の理念に三方よしの精神があります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」まさしく経営の根幹とも言うべき理念ですが、この精神にはお互いの意思の疎通がない限りただのお題目に終わると言われます。そこにはお互いが一つの方向に向かって一方通行で物事を進めるのではなく、お互いの立場を理解し努力し合うこそ三方よしの精神なのでしょう。「お客様には最大の満足を」と言う創業時からの理念をしっかりと受け継ぎ、これからも仕事を通して社会に貢献し、より強い信頼を得られるよう邁進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



京都銀行

灰孝本店様とは、昭和45年4月に京都銀行河原町支店で取引を開始して依頼、52年来のお付き合いとなります。河原町支店につきましては、令和3年6月にホテル、コンビニを併設した複合店舗として新築開店を行いました。その際にも建設部材の供給など多大なご協力を賜りました。今後とも末永いお付き合いをお願い申し上げます。

株式会社 京都銀行
頭取 土井 伸宏

太平洋セメント

灰孝本店様とはいまを遡ること明治時代の琵琶湖疎水工事より永きに亘りお取引を頂いており、歴史の重さを改めて感じております。この場をお借りしてこれまでのご厚誼に厚く御礼申し上げます。今後とも末永く太平洋セメントをはじめ弊社グループ会社の商材をご愛顧いただきますようお願い申し上げますと共に貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

太平洋セメント株式会社
代表取締役社長 不死原 正文



琵琶湖疎水工事に日本最初のセメントを灰孝本店より京都府へ納入する



灰孝セメント問屋の社屋



かるた製造元 山内任天堂の社屋



左：灰孝本店1階 murmur coffee kyotoと桜
右：灰孝本店横 高瀬川正面橋から高瀬川と桜

1885年
(明治18年)

創業者 山内房次郎が親元の石灰問屋「灰岩」を継承。この年、琵琶湖疎水の大工事が起工され、房次郎は三井家を通じ小野田セメントを仕入れ、相当量の樽入セメントを疎水工事に販売納入した。この努力が認められ三井物産小野田セメント京都代理店となった

1918年
(大正7年)

— 代目店主 山内積良が三井物産株式会社と小野田セメントの特約店契約を結ぶ。
かるた・トランプ事業の任天堂と、石灰セメント問屋の灰孝本店の2つの店を経営

1927年
(昭和2年)

積良の娘、君(長女)には、かるたとトランプの「任天堂」を、孝(二女)には石灰やセメントなどの建材部門を扱う「灰孝」を継承。三代目店主に孝の夫、山内源蔵が就任。任天堂より分離独立

1948年
(昭和23年)

戦後、灰孝本店は個人より会社組織に改め、株式会社灰孝本店を設立。小野田セメント株式会社と直接特約店契約を結び、いち早く事業を再開

2014年
(平成26年)
NCTグループに参画



灰孝本店の
“Great Dream”

対談

油嶋武晴 × 山内一正

(新ケミカル商事 社長)

(灰孝本店 社長)

油嶋社長：今回は、NCTグループの中でも100年以上の歴史のある、灰孝本店の山内社長にお話しを伺います。新ケミカル商事は前身の横尾化学産業㈱*1で76年、新日化興産㈱*2で51年となりますが、新ケミカル商事になってから19年、来年20周年という節目の年を迎えます。灰孝本店さんは創業138年、とても歴史のある会社ですね。創業からの歴史について教えてくださいいただけますでしょうか。

山内社長：ありがとうございます。明治18年に私の高祖父である山内房次郎が建材事業と花札・トランプ事業の「灰岩(はいいわ)」という会社を創業しました。明治18年～20年頃の「琵琶湖疏水事業*3」の際、三井物産を通じて小野田セメント(現：太平洋セメント㈱)のセメントを販売納入した事が事業拡大の大きなポイントでした。戦時中に紆余曲折ありましたが、終戦後、昭和23年に株式会社組織として「株式会社灰孝本店」を設立し、明治18年の創業から今年で138年、法人設立から75年になります。

油嶋社長：太平洋セメントさんとは、創業当時からの付き合いになるんですね。

山内社長：そうですね。そのご縁があり、小野田セメントの販売特約店*4の権利をいただきました。

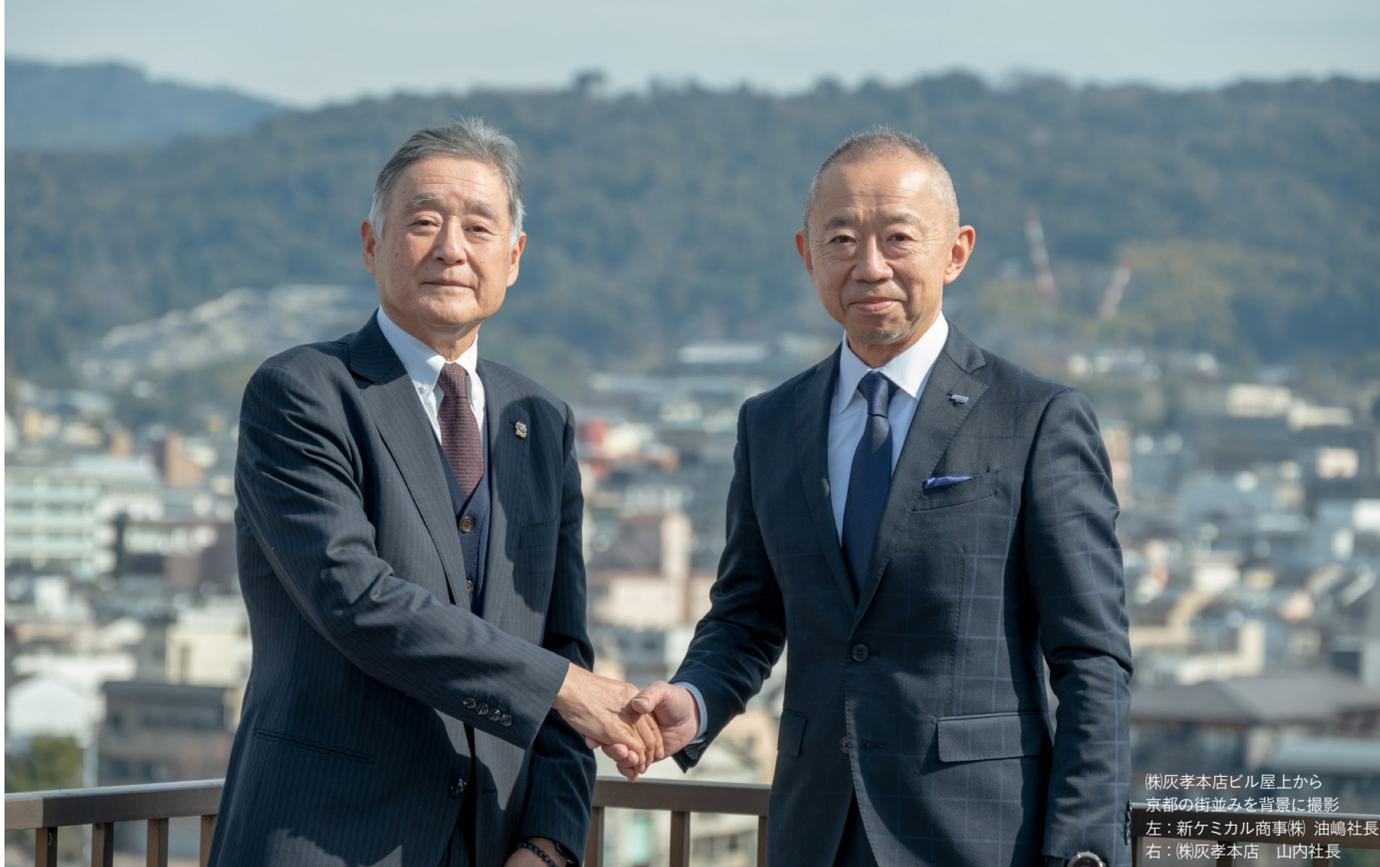
事業を続けてこられた秘訣は？

油嶋社長：138年、灰孝本店さんが事業を続けてこられた理由は何でしょうか？

山内社長：京都の人は驕(おご)ったらあかんです。驕らずに常に邁進する。138年の間にいろんな苦悩もありましたが、その都度先人が努力してきました。ですが京都人らしくあまり表には出さない(笑)。絶えず努力をしてきた結果だと思います。また、京都の人は古き良きものを大切にしますが、その反面「新しい物好き」です。**古き良きものを大切にしながらも、新しいことに挑戦してきた**ことも大きな理由だと思います。

油嶋社長：新しい物好きということ、例えばどんなことがありましたか？

山内社長：昔は現場でコンクリートを練っていたので、トラックで袋セメントを納入していました。しかし、高度経済成長期の時に、私の父親である山内康正が「このままでは時代に取り残される！時代は生コン*5に向かっている！」と考え、京都国際会館の建設の際に、近くに簡易プラントを建て、そこで生コンクリートを作り、現場に収めました。京都で生コン



(株)灰孝本店ビル屋上から
京都の街並みを背景に撮影
左：新ケミカル商事(株) 油嶋社長
右：(株)灰孝本店 山内社長

ラントを作ったのは私たちが第一号でした。その当時は同業の旦那衆*6からの反発も大きかったですね。

油嶋社長：それはとても大きな功績ですね。とはいえ、事業というのは浮き沈みがあるじゃないですか。今までの商売がうまくいかない時期もある。そういう時、灰孝本店さんは何を大切にしてきましたか？

山内社長：私は「**人とのつながり**」を大切にしてきました。お客さんや社員、周りの人との信頼関係を大切にしてきました。苦しい時に助けてくれるのは信頼関係のある人達です。

油嶋社長：京都という地は、外から見ると冷たい感じがしますが、内輪の絆はとても強いんですね。

山内社長：京都の人は“人好き”です。ただ、中に入るまでが難しいですが(笑)。

油嶋社長：京都の地からもっと遠い場所へ事業を広げていこうという話は無かったですか？

山内社長：無かったですね。遠方になるとお客様の顔が見えない。そういうところで事故が起きます。京都は狭い世界なので、信頼関係が厚いです。

灰孝本店の「儲かる力」「耐えうる力」「アピールする力」

油嶋社長：これから先、未来を見据えて変えていかなければならないと思うことはありますか？

山内社長：NCTの中期経営ビジョンである「VISION-i」の「儲かる力・耐えうる力・アピールする力」がまさにうちにも必要だと思っています。「儲かる力」は、結局儲けが出ないと商売が成り立たない。灰孝本店といえば「生コン屋」というイメージが強い。これはこれでとても大切なことで、今までは建材の仕事が多かったですが、これからは工事関係に力を入れていこうと考えています。生コンで確実に売り上げを上げながら、工事関係の事業を育てていく。できれば来年・再来年には生コンと工事関係の比

率を半分半分にしていきたい。工事関係でも特に注目しているのは土木工事関係です。地盤改良工事*7や橋の補修工事*8などを伸ばしていこうと思っています。

油嶋社長：建材事業や土木工事事業における灰孝本店さんの強みは何でしょうか？

山内社長：地場の伝手(ついで)を大切にしながら、そのノウハウを事業として広げていけることですかね。一次店として施工に携わり、その次に繋げていく、そうして商売を広げていこうとしています。

油嶋社長：それはとても重要ですね。138年続いている「灰孝さんだから」信頼があるだろうし、「灰孝さんだから」お願いできるということですね。

山内社長：そうですね。これこそ先代が残してくれた「灰孝本店らしさ」なのかもしれません。

油嶋社長：「耐えうる力」はどうでしょうか？

山内社長：今までの歴史を作ってきた人間が高齢化してきています。様々な変化に耐えられる次の世代を育て、未来に繋げていかなければなりません。今年は体制を整えて、来年には実行していきたいと思っています。

油嶋社長：次世代の教育もとても大切なことですね。「アピールする力」についてはどうお考えですか？

山内社長：やはり京都人としては、見せびらかすのを良しとしない考えもあります。しかし、時代の流れもあり「良いこと」をアピールしていこうと考えています。2024年の働き方改革関連法*9により、自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制が適用されます。これを解消するためには業界全体で“AI化”を進めていかなければなりません。例えば、現場に必要なコンクリート量をAI化して管理することを考えています。必要量を早めに把握できれば、無駄な人員、生産を省くことができ、その後の現場の作業時間も短縮できる。そういうことを業界内で発信し、「NCTグループの灰孝本店さんは最先端を走っている」ということをアピールしていきたいです。

油嶋社長：それはとても大きいですね。生コンの廃棄*10は取扱

いが難しいですからね。とても良い視点だと思います。私たちにできることがあればぜひ協力させてください。

山内社長：ありがとうございます。この取り組みはSDGsにも繋がります。生コンの過剰発注による産業廃棄物も減らせますし、働き方改革の面では労働時間の短縮にも繋がります。これは一例ですが、こういった取り組みを業界にアピールしていくのが大切だと考えています。

油嶋社長：持続可能な世界を実現するために、グループ全体でSDGsにも力を注いでいかなければなりませんね。

灰孝本店の“Great Dream”とは

油嶋社長：最後に、今回のケミカ19号のテーマに沿って、灰孝本店さんの「Great Dream」を教えてください。

山内社長：NCTの樹脂事業や化学品事業とコラボレーションをして商品を開発するなど、新しいビジネスを展開していきたいと考えています。

油嶋社長：「京都ならではの商品」など作れたら面白そうですね。

山内社長：**138年の歴史がある「灰孝本店」独自のブランドを確立し、京都・滋賀という地域で、NCTグループのブランドの浸透を目指したいと思っています。**そのためには、NCTの樹脂事業や化学品事業とコラボレーションをして商品を開発するなど、新しいビジネスを展開していきたいです。

油嶋社長：京滋地域におけるNCTグループの中核となることを期待します。

山内社長：ありがとうございます。5年後、10年後をどう考えるか、長期間でどう考えるかという機会が今まであまりなかったので、自分たちはどの方向に向かっていくのかということを整理しながら、NCTグループとして、より一層努力していきます。

油嶋社長：一緒に刺激し合って頑張りましょう。本日はありがとうございました。

- *1、*2 横尾化学産業㈱、新日化興産㈱：新日鉄化学(現 日鉄C&M)の子会社の商社
- *3 琵琶湖疏水：琵琶湖から京都へと水を運ぶ人工の運河の建設工事。京都の近代化と文明の発達に大きく貢献した。
- *4 販売特約店：メーカーと特別な契約関係のもと販売を行う小売・卸業者のこと
- *5 生コン：生コンクリートのこと。まだ固まらない状態のコンクリート。
- *6 旦那衆：同じ業界内の社長の集まりのこと。
- *7 地盤改良工事：やわらかい地盤の上に建設する際、倒れないように地盤を固くする工事。
- *8 橋の補修工事：経年劣化による橋の老朽化を食い止めるための工事。現在、各地でインフラの老朽化が懸念されているため、注目されている。
- *9 「働き方改革関連法」：2024年4月1日から施行される働き方改革関連法。ドライバーの労働時間に罰則付きで上限が設定され、運送会社のドライバー不足が懸念されている。
- *10 生コンの廃棄：生コンクリートはある程度の時間が経つと固まり始め、他の工事現場で再利用が出来ない。そのため、余った生コンクリートは産業廃棄物として処理される。



We are just 60.



門司港駅



夜景(皿倉山)



平尾台

みらい つなぐ 北九州 60th



吉祥寺



若戸大橋

市制60周年
北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

北九州市制60周年 ～みらい つなぐ 北九州～

北九州市は今年2月に市制60周年を迎えました。この節目の年に、これからの未来を創造し、今後一層の発展につなげるため、「みらい つなぐ 北九州」をキャッチフレーズに、1年間にわたり周年事業を実施します。周年事業では、SDGsやカーボンニュートラルに向けた先進的な取組みなど、北九州市の魅力を広く発信することで、若者をはじめ多くの世代の方に、市への愛着と誇りを深めていただき、希望あふれる未来につないでいきます。



北九州市長
武内 和久

【広報発信】

市制60周年事業の内容を広く周知するために、特設サイト及びInstagramを開設しています。市制60周年の各種情報はこちらをご確認ください。



市制60周年
特設サイト



市制60周年
Instagram

NCTと北九州市との関わり

- ① 2018年に本社を北九州市に移転
- ② 北九州市と「環境関連プロジェクト推進等に関する連携協定書」を締結
- ③ SDGsの取組みとして「能楽で地域活性化PJ」を北九州エリアで実施



小倉城



戸畑祇園山笠

新ケミカル商事の
“Great Dream”

NCT 働き方改革

働き方改革の基本方針

商社らしい働き方



上記を個人が追求し実践できることを基本とし、
社員の健康維持にも配慮しつつ、社内制度、慣習の見直しは
これを念頭に置いて行うこととする。



代表取締役社長
油嶋 武晴

各部署から選抜されたメンバーによるプロジェクトから働き方改善案が昨年答申されました。これをベースに出来る改革から逐次手を付けようとしています。昨年は在宅勤務対応(PC充実、Web改善)と半日年休制度の改善を行いました。少しずつ期待の成果が上がって来ていると実感しています。2023年度も在宅勤務制度の正式導入等、当社の経営スタイルに合った豊かで生産性を高める働き方改革を実行していこうと考えています。



管理部長
山口 康博

当社では働き方改革が進んでいます。PC入替で仕事の自由度は上がり、会議スタイルも変わりました。またFree Bizでオフィスの雰囲気も変わってきました。働き方改革の基本コンセプトは、『自由な発想・自由な行動・自由な学び』を個人が追求し実践する』です。社員一人一人の実践によって初めて改革が進むということです。これから会社は色々な制度を変えていきます。社員の皆さんは新しい働き方を実践し、会社を改革していきましょう。

実施項目

2022年10月開始



休暇制度の見直し

- 半休制度の限度回数の変更
 - 福祉休暇利用要件の緩和
 - 育児介護休業規定改訂
- を行い、より働きやすい環境を整えました！



服装の自由化 (FREE Biz) の導入

- 「服装自由化(FREE Biz)の導入」により世の中の流れ、時代の変化に合わせた意識改革を即し、
- ①固定観念を打破する
 - ②各々が自律的に自由な発想を生み出す
 - ③より柔軟なアイデアの創出ができる就業環境が醸成されることを目指します。



川畑さん

矢田さん

2023年4月開始



2023年4月1日より
カフェテリアプランを開始！

旧



新



よりRe-skillingにも使いやすくなりました



在宅勤務を制度化しました！



コロナ対策の一時的な措置としていた在宅勤務ですが、商社らしい働き方を実行するために【在宅勤務制度】として新設しました。

4回/月
(1回/週)

ただし小学校就学前の子供がいる場合や、介護を必要とする同居家族がいる場合は8回/月まで可能



ダイバーシティ推進メンバー
左から
柚木崎さん、井上さん、高野さん、峰島さん、堀川さん、岡さん

新卒・第二新卒の採用に力を入れています！

新ケミカル商事では、次世代の育成のため新卒・第二新卒の採用に力を入れています。



働き方改革の一環として、**オフィス改革** 進行中！
第一弾は、北九州本社
の移転を2023年夏に予定！

ダイバーシティ推進(女性活躍)

3月15日(水)・16日(木)
女性社員向けキャリアデザイン研修を実施

当社の基幹業務を支え、働き方改革の一翼を担う女性社員が、働きがいを感じ、新たな一歩を踏み出すための支援として、女性社員向けキャリアデザイン研修を開催しました。

初めは身構えた様子でしたが、社長メッセージ、チームメンバーとの意見交換、サプライズで渡された「上司からの手紙」により、終わる頃には明日からの仕事をイキイキとした表情で話すまでに変化していました。

管理部では、今後も働きがいのある環境づくりを目指して様々な施策を提案していきます！



find out the solutions with **US**

